

管理所レビュー VOL.07

(R4.7.28 水源林管理所)

令和4年度、第7回のボランティア活動が、7月9日(土)に予定どおり実施されました。

当日の朝は、曇りの多い空模様でしたが、次第に晴れ間も見え、絶好の間伐日和となりました。

道志水源林ボランティアの会の皆さんによる安全作業により、今年度の活動も無事故で折り返し地点を迎えることができましたこと、感謝申し上げます。是非とも残りの活動も安全第一を心掛けた作業をお願いいたします。

また、7月9日の活動以降、新型コロナウイルスの感染者が再び急増していますので、重ね重ねのお願いになりますが、感染防止対策の徹底をよろしくをお願いいたします。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

1 活動当日の様子



午前中は曇りの多い空模様。



体をしっかりと伸ばしましょう。



気を付けて、いってらっしゃーい！



追い口の切り込み具合の確認を！



枝払いも注意して！



傾斜地での作業は足元注意！



目標通りに見事に伐倒！



2班はケーブルに注意！



補助ロープと協力で負担軽減！



小口の揃ったきれいな仕事。



毎回の道具の清掃に感謝！



メインロープを新品に交換しました。

2 幹の切断方法について。

林内で立木を伐倒すると、幹が曲がった状態で横たわる場合が多く、その場合は圧縮や引張りの応力のかかった状態となります。応力のかかっている幹の切断（玉切り）は、ノコギリの挟まれなどが起きる場合がありますので、十分注意してください。

◆基本となる切断方法

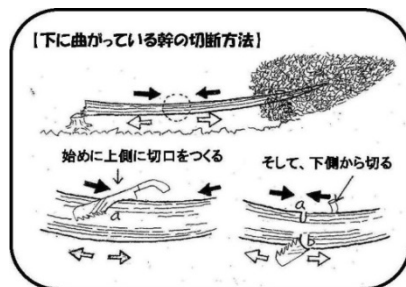
(1) 下に曲がっている幹の切断方法【イラストA】

まず、上側の圧縮されている方に切口を作り、続いて下側から切り進めると幹が徐々に下がりながら切り口が開いていくので、ノコギリを挟まれることなく安全に切断できます。（切り終え時、幹の落下による足の挟まれに注意してください。）

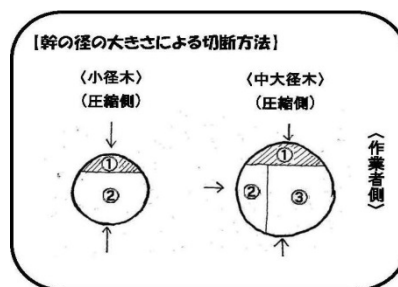
(2) 幹の大きさによる切断方法【イラストB】

中大径木では上側①を切り、次に②の部分の切っておくことにより、③を切り進めていくと②の部分の下側が徐々に開き、幹が作業員から離れるように切れていくため、安全です。

(3) 上に曲がっている幹の切断方法は、【イラストA】と逆の切断順序です。



【イラストA】



【イラストB】



正しい状況判断と基本作業を。

【ここで注意！】

極度に曲がっている幹を切断する場合は、幹が裂ける場合があるので、注意が必要です。特に上に曲がっている幹の切断は、上から切り進めていく途中で幹が裂け、自分の顔や体に向かってくる場合があります、大変危険です。玉切りの長さは気にせず、曲がりの小さい方から徐々に玉切りを行ってください。また、「裂ける」心配があるので、ロープで「裂け止め」などの処置を行ってから切りはじめてください。

- ★ 応力のかかっている幹の処理は、**幹の状態を良く観察し、正しい手順で処理する事が重要です。**また、あらかじめ補助ロープをセッティングして挟まれた時に対処できるようにしておいてください。

3 受け口・追い口切りは水平に。

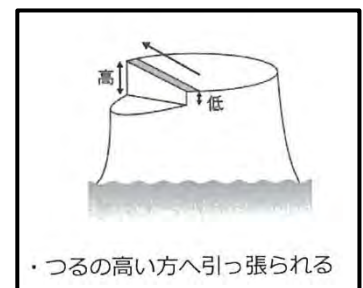
受け口や追い口を切り込む時、力が入りすぎると、ノコギリの先端と歯先が下がりがちになり、水平に切れていないケースを見かけます。

水平に切れていないと、切り残し（つる）の高さに差が出て高い方に伐倒木が引っ張られるため、目標となる伐倒方向からずれる危険があります。

インストラクターは切り手が水平に切れるよう、注視して助言をお願いします。



水平に切れていないケース。



※ 次回、7月29日（金）は、晴れ時々曇り、最高気温 30 度の予報となっています。

★それでは次回7月29日、気をつけてお越しください。